

進路指導部だより



第7号

兵庫県立芦屋特別支援学校 進路指導部 令和7年1月30日発行

年が明けて1か月が過ぎました。昨年は、石川県能登地方で大きな地震があって大変な年明けでしたが今年はいかがでしたか。2学期の終業式で校長先生と約束した今年の目標はしっかりと決めることができましたか。

さて、高等部3年生にとっては、学生生活も残り約1か月となりました。卒業していく人たちにとっても、それを見送る人たちにとっても思い出に残るような大切な時間を過ごして欲しいものです。

昨年12月には、高等部生徒を対象に外部講師を招いての学習がたくさんありました。以下に、それぞれの内容をご紹介します。

★マナー講座★



12月12日(木)と12月17日(火)の2日間、NPO法人みちしるべ神戸の方に来校いただき、高等部3年生と2年生を対象に「マナー講座」の講習会を実施していただきました。みちしるべ神戸は、現場体験実習や卒業後の進路先として、大変お世話になっている事業所です。

「すてきな大人になるために」を大きなテーマに、「働く」とはどういうことか、マナーを守るのはなぜか等の話を、スライドや紙の資料を参考にとてもわかりやすくお話していただきました。3年生の生徒は、「いろんなマナーについて、自分の成長につながるような貴重な話が聞けて良かった。」「マナーを守るために素敵な人・思いやりのある人になりたい」といった感想を持ちました。また、2年生の生徒は「話を聞いて働くとうなるのわかりました。お金がもらえることもうれしいけど、それよりも人から必要とされたり、人の役に立ったりとかが、お金よりも大切だと実感しました」「マナー講座を受けて自分にできていないことがたくさんあったことに気づきました。目を見ずに話してしまったり、相槌をしなかったりその時の気分で接してしまうことがあるので、もっと優しい表情で友達と接したいです」といった感想もありました。



マナー講座で学んだことを、高等部2年生は最高学年へ、高等部3年生は卒業後社会人としてそれぞれ活かしてほしいと思います。